



株式会社UKCホールディングス 2013年(平成25年)3月期決算 補足説明資料

2013年5月10日



株式会社 UKCホールディングス





目次

2013年3月期 決算(連結)概況

事業セグメント	4
2013年3月期 ハイライト	5
2013年3月期 半導体及び電子部品事業	6
2013年3月期 電子機器事業	7
2013年3月期 システム機器事業	8
2013年3月期 財政状態(バランスシート)	9
2013年3月期 財政状態(キャッシュ・フロー)	10

2014年3月期 通期連結業績／配当予想

2014年3月期 通期連結業績予想	12
-------------------	----





2013年3月期決算(連結)概況



事業セグメント



事業部門(セグメント)		主要製品	主要顧客／市場
半導体及び 電子部品事業	半導体	イメージセンサー、メモリー、マイコン、システムLSI、 その他半導体	エレクトロニクスメーカー
	電子部品	液晶パネル、タッチパネル、バッテリー、光学ピックアップ、 ACF※、基板、複合部品、その他一般電子部品	
	EMS	電子機器受託製造サービス (Electronic Manufacturing Service)	
	その他	LED照明、太陽光パネル	店舗、工場、オフィス、 メガソーラー
電子機器事業	電子機器	各種VTR、カメラ、音響映像関連機器、ビデオプリンター	放送局、プロダクション、 一般企業、教育機関、 医療機関、半導体製造 装置メーカー、システム インテグレータ
	記録媒体品	磁気テープ、光ディスク、データ記録用ディスク	
	製品	電子機器を組み合わせたシステム製品、 セキュリティ関連製品	
	その他	電子機器の修理、AV機器のレンタル、教育用ソフトウェア	
システム機器 事業	産業電子機器及び 伝送端末機器	非接触ICカード(FeliCa, NFC)R/Wモジュール、電子決済端末、 出入管理端末	電子決済市場、 デジタルサイネージ市場、 PC・タブレットメーカー
	その他	信頼性試験受託業務、環境物質分析受託業務	半導体・部品メーカー、 太陽電池メーカー

※ 異方性導電膜 (Anisotropic Conductive Film):

中・小型液晶パネルとフレキシブルプリント基板を接合するフィルム型の実装材料

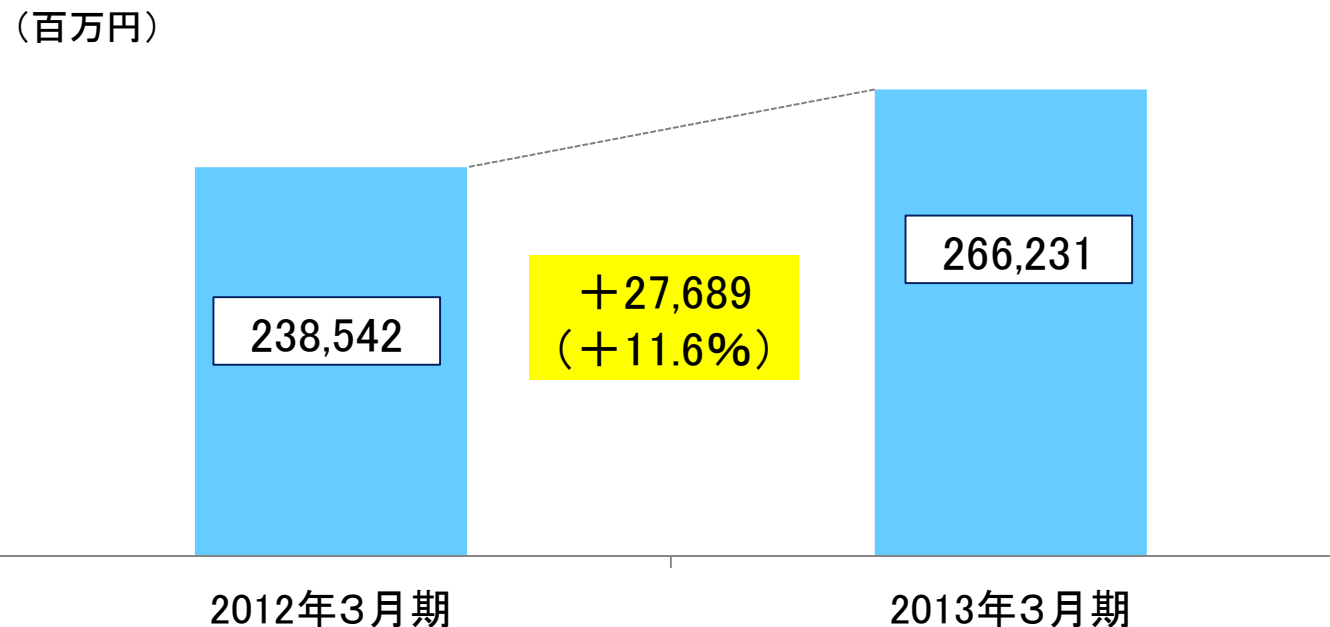


2013年3月期 ハイライト

(単位:百万円)	2012年3月期		2013年3月期		前年同期比	
	金額	構成	金額	構成	増減金額	増減率
売上高	257,088	100.0%	284,508	100.0%	+27,420	+10.7%
売上総利益	16,665	6.5%	17,851	6.3%	+1,185	+7.1%
SGA	11,275	4.4%	10,490	3.7%	▲785	▲7.0%
営業利益	5,389	2.1%	7,360	2.6%	+1,970	+36.6%
経常利益	5,008	1.9%	8,162	2.9%	+3,153	+63.0%
当期純利益	2,722	1.1%	5,025	1.8%	+2,303	+84.6%

- 売上高:前年比+274億円(+10.7%)
デジタルスチルカメラ、スマートフォン向け電子部品販売やEMS(電子機器受託製造サービス)事業の増収がサムスン製半導体・電子部品ビジネスの事業譲渡による減収(▲141億円)をカバーし、全体として増収
- 売上総利益:売上増に伴い前年比+11.9億円
滞留在庫の廉売・廃棄もあり、売上総利益率は低下(▲0.2%)
- SGA:事業譲渡による減少に加え、希望退職募集による固定費削減が奏功
- 営業利益:前年比+19.7億円(営業利益率+0.5%)
- 経常利益:前年比+31.5億円(経常利益率+1.0%)
営業利益増に加え、円安傾向に伴う為替差益の計上(893百万円)により前年比大幅増
- 当期純利益:希望退職者募集に伴う退職特別加算金(497百万円)を特別損失として計上したものの、経常利益増が寄与し、前年比大幅増

2013年3月期 半導体及び電子部品事業



セグメント利益(百万円)	2012年3月期	2013年3月期
	6,802	8,530

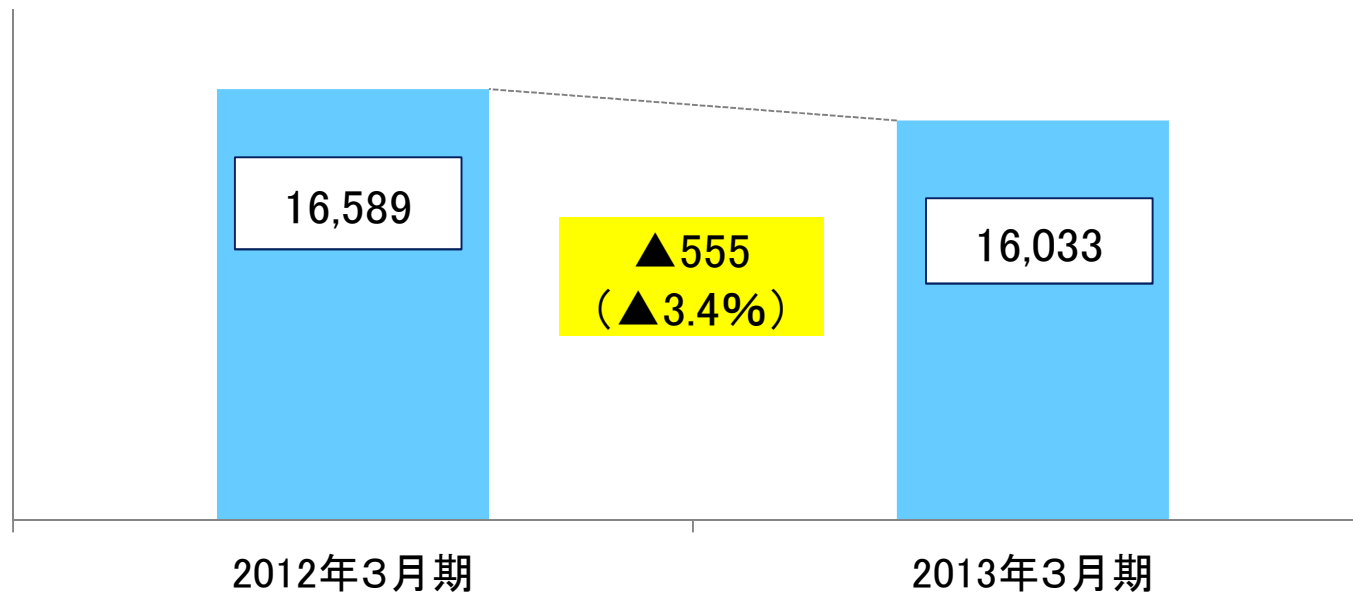
- ソニー半導体・電子部品
タイ洪水の影響もなくなり、デジタルスチルカメラ、スマートフォン向けイメージセンサーの販売が好調に推移
- サムスン半導体・電子部品:11年7月に丸文セミコンへ事業譲渡(▲141億円)
- その他半導体、電子部品:スマートフォン向けタッチパネル、車載用途(カーナビ等)液晶パネルが好調
EMS事業も自社工場の通年稼働により伸長
- 増収効果と固定費削減により、セグメント利益は拡大(+25.4%)



2013年3月期 電子機器事業



(百万円)



セグメント利益(百万円)

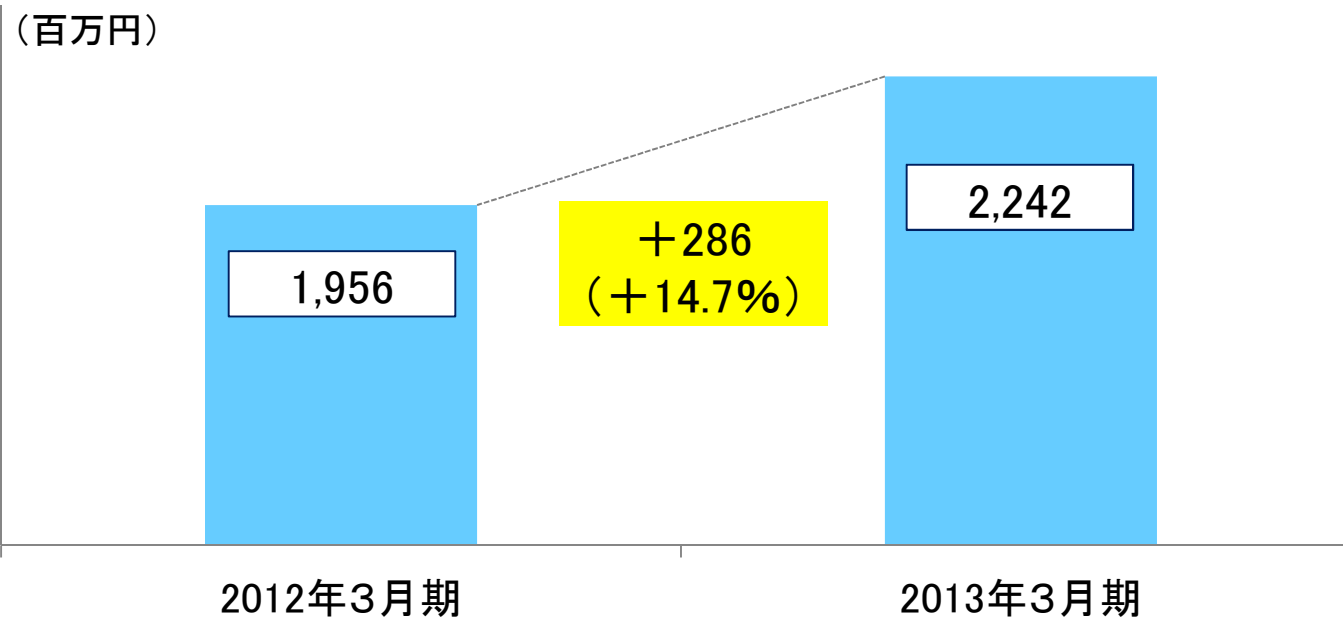
404

362

- 業務用電子機器ビジネス
顧客の設備投資の停滞に加え、市場競争も厳しいことから伸び悩む
- イメージセンシングビジネス
半導体製造装置メーカーの投資抑制や韓国における価格競争の影響により販売減
- 保守等の高付加価値事業に注力したものの、減収の影響をカバー出来ず、セグメント利益は減少(▲10.4%)



2013年3月期 システム機器事業



セグメント利益(百万円)

172

232

- 非接触ICカード関連ビジネス
特に下期に入り、デジタルサイネージや電子マネー関連ビジネスが拡大
- 半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス
売上は前年から微減したものの、全体としては堅調に推移
- 増収と販管費削減効果により、セグメント利益は増加(+34.5%)

※Near Field Communication: 近距離無線技術の国際標準規格。ソニーFeliCaとの下位互換性を持つ



2013年3月期 財政状態(バランスシート)

(単位:百万円)		12/3月末	13/3月末
現預金		17,925	12,601
売上債権		61,015	65,119
棚卸資産		16,892	24,091
その他		3,627	6,536
流動資産計		99,461	108,349
固定資産計		4,923	5,874
総資産		104,385	114,223
仕入債務		38,837	35,371
短期借入金※		15,514	25,232
その他		4,252	4,410
流動負債計		58,605	65,014
長期借入金		4,865	2,610
その他		1,243	1,196
固定負債計		6,108	3,806
純資産		39,671	45,402
自己資本比率		37.7%	39.4%

※ 1年内返済予定の長期借入金を含む

	前期末比	主な増減要因
総資産	+9,838	<ul style="list-style-type: none"> ・棚卸資産 +7,199百万円 ・売上債権 +4,103百万円 ・現預金 ▲5,324百万円
負債	+4,107	<ul style="list-style-type: none"> ・短期借入金※ +9,717百万円 ・仕入債務 ▲3,466百万円 ・長期借入金 ▲2,255百万円
純資産	+5,731	<ul style="list-style-type: none"> ・純利益 5,025百万円 ・為替換算調整勘定 +1,269百万円 ・利益剰余金からの配当 ▲549百万円
自己資本比率	+1.7%	利益剰余金の増加により37.7%から39.4%に上昇

2013年3月期 財政状態(キャッシュ・フロー)

(百万円)	12年3月期	13年3月期	主な増減要因
営業 CF	2,385	▲8,416	<ul style="list-style-type: none"> ・税金等調整前当期純利益 7,650百万円 ・仕入債務の減少 ▲6,965百万円 ・たな卸資産の増加 ▲6,267百万円 ・法人税等の支払額 ▲2,359百万円
投資 CF	5,027	▲1,592	<ul style="list-style-type: none"> ・定期預金(払戻収入ー預入支出) ▲771百万円 ・有形固定資産の取得 ▲588百万円 ・子会社株式の取得 ▲101百万円
財務 CF	▲3,980	2,958	<ul style="list-style-type: none"> ・短期借入金の増加 2,475百万円 ・長期借入金の増加 1,148百万円 ・配当金の支払額 ▲549百万円
現金及び 現金同等物	16,765	10,561	



2014年3月期 通期連結業績／配当予想



2014年3月期 通期連結業績予想

(単位:百万円)	2013年3月期 (実績)		2014年3月期 (予想)		前年同期比	
	金額	構成	金額	構成	増減金額	増減率
売上高	284,508	100.0%	290,000	100.0%	+5,491	+1.9%
売上総利益	17,851	6.3%	18,200	6.3%	+348	+2.0%
SGA	10,490	3.7%	10,800	3.7%	+309	+3.0%
営業利益	7,360	2.6%	7,400	2.6%	+39	+0.5%
経常利益	8,162	2.9%	7,000	2.4%	▲1,162	▲14.2%
当期純利益	5,025	1.8%	4,500	1.6%	▲525	▲10.5%

- 為替レート前提: 1USドル=90円
- 売上高: 前年比+55億円(+1.9%)
スマートフォン向けイメージセンサーやタッチパネルの販売は好調を維持、液晶向け素材ビジネスも寄与
市場の縮小により、コンパクトデジタルスチルカメラ向け販売は減少
- 営業利益: 前年比微増+0.4億円(+0.5%)
売上総利益率は前期並みを予想。国内のSGAは前年度実施の希望退職募集により減少するが、
海外グループ会社のSGA増加(円換算)がそれを上回る見込
- 経常利益: 前年比▲11.6億円(▲14.2%) 当期純利益: 前年比▲5.3億円(▲10.5%)
営業外に為替差損益を織り込まず(前期為替差益8.9億円)、経常利益、当期純利益は減少
- 配当金予想: 1株当たり40円(中間配当金20円、期末配当金20円)



株式会社 UKCホールディングス

〈お問い合わせ先〉

経営企画部 大澤

Mail to: ir@ukcgroup.com

本プレゼンテーション資料中のデータや将来予測は、資料作成時点における当社の判断や入手可能なデータに基づくもので、今後様々な要因によって変化することがあり、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。

